

## 巻頭言

「どうか、私たちの主イエス・キリストであり、私たちの父なる神である方、すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてくださいますように。」

2テサロニケ2章16-17節

昨年2017年の一年間、JCPNの諸教会が、このみ言葉のごとく、実現なされたことと信じております。このみ言葉は、天父と私たちの間に、誰も関与していませんね。それは、私たちの信仰生活のゆるがぬ土台だと思えます。しかし、他の教会を自分の教会の姿と比較するようなことが、私達に全くなかったと言ったら、嘘になるでしょう。

2017年は、JCPNの働きで、一見、あまり前進がなかったように見られます。何故なら、新たな教会が生まれても、JCPNに加盟することがなかったからです。しかし、良く考えると、2018年の飛躍に向けて、主が着々とその準備をしてくださっていたのです。私も、敵のだましに翻弄されることなく、目を主にしっかりと向け、2018年の大きな進展を見据えて、希望に胸を膨らませて進んでゆくことを、主の前に決断しました。この思いを、主が助け、失敗した時、慰めて下さり、仕える時、強めてくださいますようにと祈ります。

2018年は、2つの群れが、JCPNへの加盟準備のために祈っておられます。鈴木牧師が牧するやすらぎキリスト教会（カルフォルニア州・ガーディナ市）と谷口牧師が牧するCrossover Japanese Church of Calgary (CJCC)（カナダ・カルガリー市）です。また、JCPNの諸先生方が、ご自分の群れのほかに、月1回程、他の地に出かけてゆき、新しい教会設立の準備をなさっています。そのいくつかを申し上げますので、この年内に、新規開拓教会として、JCPNの一員に加えられ、ご一緒に宣教に仕えてゆくことができるように、どうぞお祈りください。フロリダ州マイアミ市、ミシガン州ノバイ市、ネバダ州ラスベガス市、カリフォルニア州

サンディエゴ市です。この実現を見るためには、主から特別に呼び出された、伝道者・教会開拓伝道者が数多く必要です。イエス様がおっしゃるように、献身者たちが起こされるためにも、是非お祈りください。

横井マイク

## 【やすらぎキリスト教会】

牧師 鈴木ケン



2017年7月にやすらぎキリスト教会に招聘され、9月1日に赴任しました。やすらぎキリスト教会は、2012年11月に単立教会として設立され、2013年9月付属幼稚園が開園されました。しかし、牧師の健康の問題で後2015年より後任の牧師に任せましたが、2017年6月に契約が切れ、無牧の状態になりました。

やすらぎキリスト教会の牧師とは、アメリカに来て10年来の友人としてお付き合いをしていました。その牧師から、無牧の状態になってしまったので、後任の牧師を探してくれないかという話があり、私はベトナム宣教中なのでJCPNの先生方に相談してみますという話をしました。後任の牧師を探すのはそんなに簡単な話ではないことは分かっていましたが、イエス様の立ち上げられた教会を無牧の教会にし、存続出来なくなるのだけは避けたいと思いました。また、どんな形であれ毎週の礼拝だけは守りたいと思い、ごすべるシロアム教会の稲富先生にお願いして、

当分の間、神学生の訓練の場として、毎週日曜日メッセージの奉仕が出来ないか相談したところ、快く承諾して下さいました。

私は事務局のメンバーとして JCPN に席を置いており、事務局会議にはスカイプを通してベトナムのダナンより参加していました。1年くらい前から横井先生からそろそろアメリカに戻って来てはどうか、という話をされましたが、ベトナムで行っている日本語クラスを途中で止めてアメリカに戻る事は出来ないのもう少し待って下さい、と話をしました。すると横井先生は、では一生懸命祈ります、と言われました。

2014年3月、ごすぺるシロアム教会の宣教師として、ベトナムに遣わされませんが、そろそろ牧師としての奉仕を止め、これからは天国に召されるまで宣教師として主に遣えたいと、夫婦で考えていたので、アメリカの家も持ち物も全部処分してベトナムに行きました。

私達夫婦はベトナムにいて毎日やすらぎキリスト教会の為に祈りました。夫婦でいろいろ祈り話し合った結果、神様の計画がなんとなくわかりました。ベトナムは社会主義の国で、仏教、カトリック教会、プロテスタント教会は政府が公認していますが、沢山の制限がありました。その一つは伝道活動です。アメリカや日本で何も問題なく行われている、トラクト配りやイエス様の事を伝えるような路傍伝道は出来ません。また、家に定期的集まる集会なども出来ません。私たちは伝道の手段として日本語を教えていましたが、一切イエス様の話は出来ませんでした。もし、生徒がクラス以外の場所で、私がイエス様の話をしているなどの誤解を与えたら、公安（警察）が調べに来ます。私たちは、一切言葉では福音を伝える事が出来ない状態にいました。その時、夫婦の一番の問題は言葉で福音が伝えられないということで、このもどかしさがストレスになりました。しかし、福音を伝えるのは言葉だけではない。行いにより愛を伝える事によって福音が伝わる事に気が付かされました。それからは、ストレスは無くなり行いを持って福音を伝える事で、宣教に対する平安が与えられました。このベトナム滞在の間行いによって愛を伝え、その愛によってイエス様の福音が伝える事が出来るのだ、という喜びを持って毎日、日本語クラスを行っていました。

そんな時にやすらぎキリスト教会で牧師を探しているという話が出ました。夫婦で祈っていた時に、今、ベトナムに遣わされているのは、私たちの訓練なのだという事でした。アメリカにいたら、行いによってイ

エス様の愛を伝えるという事は、とても難しい事です。言葉によって福音を伝えるという事は、誰からの制限を受けずに簡単に出来るからです。

やすらぎキリスト教会にも幼稚園にも、設立牧師が健康を害してから福音は語られていませんでした。神様はそこに行って今度は、言葉と行いによって福音を伝えなさいと私達夫婦に語って下さいました。私たちがベトナムに宣教に出たのは、神様の計画の中に有ったのだと気が付かされました。現在、Southern Baptist Convention に加盟手続きをしており、今年の JCPN カンファレンスまでには加盟が決まり、その後 JCPN 加盟教会となり、また皆さんと教会開拓を一緒に出来る事を楽しみにしています。これからも Goal を目指して主の為に走って行きたいと思えます。



## 【パールシティ第一バプテスト教会日本語部】

牧師 石渡敬子

「真珠湾を望む丘の上の教会」から、ワイキキ・バプテスト教会に、日本語礼拝の「出前」を始めて14ヶ月が経ちました。これは、ワイキキ周辺在住、もしくはワイキキ勤務の日本語族へのアウトリーチ目的の日本語礼拝です。日本からの観光客の方達も大歓迎。毎週日曜日の午前中は、従来通りパールシティでサンデースクールと日本語礼拝などを行い、午後からワイキキに「サーフィン」に繰り出します。（神様のつくられる霊の「波」に乗るためです。）

ワイキキ・バプテスト教会（WBC）では、毎日曜日の午前中、二回の英語礼拝が行われています。午後からは、まず韓国語教会が、WBC礼拝堂を借りて礼拝をしています。私たち、日本語礼拝は午後4時からです。スタート当初は、どれだけの人たちが関わってくれるか、まさに「神のみぞ知る」の状態でした。分かっていたことは、少なくとも私一人は行って、ピアノを弾きながら賛美リード、そしてメッセージをするということでした。ところが蓋を開けてみると、神様は、まずパールシティから出かける奉仕チームを整えて下さいました。全く予測していないことでしたが、パールシティ教会の英語部から兄弟たちが立ち上がり、ピア



ノにギター、ベースギターが加わりました。やがてドラムも加わりました。当初、ボーカルは、日本人女性4名だけでしたが、男性ボーカルも二人加わりました。しかもその二人は英語族です。(ワイキキ礼拝では、もっぱら日本語で賛美をしています。それなのに、どうして?と思いますが、二人はしっかりと日本語で歌ってくれています。「神の不思議」です。)

日本語礼拝出前を始めたばかりの頃は、チームメンバーで盛り上がるばかりで、外から礼拝に参加してくださる方達が数えるほどでした。「このまま続けて良いのだろうか?」という疑いの思いが私を襲いましたが、毎週ワイキキに出かけて礼拝できることを楽しみにしているチームメンバーたちの存在に励まされて、続けていくことができました。昨年春ごろになって、Facebook ライブという形で、ワイキキ日本語礼拝を不特定多数の人たちに届けられるようになってからは、目に見える「数」に惑わされないようになりました。腹をくくって、ワイキキ礼拝を続けていくぞ!という思いに導かれています。Facebook ライブで礼拝の様子を届けた後は、Facebook をお使いにならない方のために、Youtube にビデオをアップしています。その後、目に見える結果も神様は見せてくださり、私たちを励まして下さっています。

昨年9月、私たちの教会の名誉牧師、平谷守義牧師が89才で天に召されました。今から22年前、ハワイでの日本語ミニストリーにまだまだ将来があることを信じ、パールシティ第一バプテスト教会の日本語部牧師として私を雇ってくださったのは、平谷牧師でした。平谷牧師が召された翌朝が、日曜日でした。その日のサンデースクール中、一人の女性がイエス様を受け入れるお祈りをしました。この方は、ワイキキ在住の若いお母さんで、パールシティとワイキキの両方に参加されていた方でした。この女性が救われたニュースを、天国に引っ越されたばかりの平谷先生が天使達と一緒に聞き、喜んでくださったであろうことを思い、涙が出ました。

さらには、ワイキキチーム・メンバーの友人で、日本在住の女性が、私たちのワイキキ礼拝を Youtube で毎週見るように導かれました。この方が、昨年12月、「ワイキキ礼拝の牧師に会いたい」と言ってハワイを訪問されました。そして、ハワイ訪問中、イエス・キリストを信じる告白をされたのです。「神様はこんなこともされるのだ」と神様の働かれ

方のユニークさに感心しています。この方が御心の日本の教会に導かれるように祈っているところです。

ワイキキ礼拝開始当初は、毎週の礼拝説教を私がしていましたが（パールシティ礼拝とは別の説教です）、ここに来て、神様はワイキキ礼拝でメッセージを語って下さる牧師先生方を起こして下さっています。私たちの思いは一つ--日本語を解する方達をメイン・ターゲットに、一人でも多くの方達にイエス・キリストの福音を伝えることです。これからも神様がワイキキ礼拝を御心のままに導き、また私たちもその導きに従順に、そして喜んで、ついていくことができるようにお祈りくださったら感謝です。



## **【JIBC(Japanese International Baptist Church)ポートランド】 牧師 八十努**

「会堂建築を通して教えられた3つの事」

昔「戦争を知らない子供たち」という歌が流行りましたが、私はJIBCの歴史の半分を知らない世代の牧師です。開拓伝道推進の為にも、横井牧師夫人が書かれた手記を参考にさせていただきながら書きます。詳しい話はそちらを御覧下さい。

JIBCはポートランドのシベリヤと呼ばれるシルバン丘の上で生まれました。当時は英語教会の離れを使って礼拝をしていました。冬、平地の

雪が溶けても雪に固く閉ざされて礼拝を行うことができなくなる丘の上の教会。日曜日はちゃんと教会の礼拝を守りたいと皆が願っていました。新米牧師を先頭に40名弱の群れ。資金的に頼みとなる壮年の方はチラホラ・・・それでも礼拝堂は建ったのでした。

人が器を備えるとそれを主が満たして下さるかのように、さらに新しい方々が与えられました（私もその一人）。英語を話す方々も増えてきました。英語牧師が与えられました。その中で教室不足が深刻になってきました。資金集めをプロに頼み、建築キャンペーンを始めました。様々なアイデアを取り入れて図面を描いてゆくうちに建築予算は膨れ上がって行きました。プロ頼みの資金集めも予想を下回る結果になりました。そして、増築計画は暗礁に乗り上げてしまいました。

しかし必要は変わりません。ご年配の方がいる横でエネルギーあり余る子供たちが走り回る危険な状況が見られるようになりました。雨の多いポートランドには子供の屋内遊び場が必要です。これは教会だけでなく地域の日本人社会の叫びのように思えました。そこで経費を必要最小限に抑えた倉庫のような体育館兼教室棟を建築することにしました。

資金集めを再開するにあたり、リーダー達で主の導きを求めました。



最初に導かれた事は「無借金」でした。そしてエリシャとやもめの話から、私たちが器（祈り）を用意すれば主が油（資金）を与えて下さるとの導きも頂きました。それから毎週の増築祈祷会が始まりました。

土台となるコンクリートと鉄骨工事はプロに頼み、残りは自分たちで行えば費用を抑えられる、と計画を進めて行きました。工事をするにあたって地域の様々な業者に話が行きましたが、支払いのめどの立たない工事を請け負う業者なんてありません。最後にロジャーさんが教会に来られました。支払いの話になった時、横井牧師が「主が支払って下さいます」と確信をもって語られました。彼はしばらく考え込んでいた後「わかりました。主が払って下さるのですね」と引き受けて下さいました。

重機が入り工事が始まりました。毎週いくら建築献金が入るか予想がつかない状態。請求書を最初に目にする会計の潤子姉に大きな負担がかかりました。教会は「主が支払って下さると言いました。あなたの栄光の為にどうか遅延なく支払わせて下さい！」と熱心に祈り続けました。なぜかその年は例年になく大雨が続きました。工事が大幅に遅れたため請求書が来るペースが遅くなりました。その間に必要が満たされ、滞りなく支払い続けることができました。ロジャーさんは最後に外壁につける大きな十字架を献品して下さいました。

ロジャーさんの会社による工事が終わると今度は私たちが建てる番です。最初に手伝いに来られたのがルイジアナ州の諸教会のチーム。猛スピードで計画以上に工事を進めて戻って行かれました。その後は私たちの見よう見まねの手作業。若者からご年配の方まで、日本語の方も英語



の方も一丸となって建築を続けてゆきました。子供たちやご年配の方も様々な形で資金集めの活動をして下さいました。工事で自分たちのできない部分はプロに頼みました。あるコンクリート業者は、なんと工賃を全額献金（返金？）して下さいました。

しかし大詰めに入った時期に請求書が支払えなくなりました。4千人の給食の奇跡のように「前回の危機の時に満たして下さいたのだから今回も大丈夫」と理屈では分かっているにもかかわらず支払えないものは支払えません。リーダーたちで緊急会議を行い「祈っていてばかりではだめだ。具体的な資金繰りの手を打たなければ」と話し合い祈り合いました。不思議とイエス様は必要を満たして下さいました。ある時は思いがけない方から絶妙のタイミングで大きな献金がありました。こうしたことが何度も起こりました。

この会堂建築の経験を通して3つのことを教わりました。1) 教会リーダーが自分の考えを捨てて主に聞くことの素晴らしさ。2) 教会が一丸となって熱心に祈ることから現わされる主の力の凄さ。3) 「やる」と言ったら本当に実行される主を信頼する事の大切さ。

外装ができましたので、これから内装作業に入ります。完成すれば、体育館でスポーツ伝道がなされ、幼児達が遊んでいる横のコーヒーラウンジで親御さん達が交わり、教室で弟子訓練がなされる場になってゆく事でしょう。机や椅子、備品の一つ一つを購入する費用が満たされるように引き続きお祈り下さい。



## お知らせ～JCPN 開拓伝道支援会より～

・いつも J C P N（アメリカ日本人教会開拓ネットワーク）のために、お祈りとご支援を下さり、感謝致します。本ニュースレターの送付先について、変更・追加のご要望や、修正が必要な点がございましたら、大変お手数ですが、下記のメールアドレスまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。また、ニュースレターは、Eメールで配信をすることも可能となりました。Eメール配信をご希望の方も、下記ご連絡先までご一報くださるようお願い致します。

連絡先メールアドレス：[jcpn.shienkai@gmail.com](mailto:jcpn.shienkai@gmail.com)

### 会計報告

献金者ご芳名（2017年9月～現在）

2017/9/25	鞭木由行 様
2017/9/28	帯山聖書教会 様
2017/10/3	森祐理 様
2017/10/11	柏木隆広 様
2017/10/13	黒江勉 様
2017/10/13	林秀樹 様
2017/10/16	結城福音キリスト教会 様
2017/10/16	羽鳥頼和・路津子 様
2017/11/6	柏木隆広 様
2017/12/13	田中滋子 様
2017/12/18	石島弘憲 様
2017/12/27	帯山聖書教会 様
2018/1/15	鞭木由行 様

献金総額は、150,000 円でした。

皆様からの尊い献げ物に、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

JCPN 開拓伝道支援会

< JCPN 加盟教会 (2018年2月現在) >

- ・日本インターナショナルバプテスト教会 (JIBC) (オレゴン州ポートランド)
- ・JIBC タコマ (ワシントン州タコマ)
- ・サンホゼバプテスト教会 (カリフォルニア州サンホゼ)
- ・JIBC フェニックス (アリゾナ州フェニックス)
- ・ごすぺるシロアム教会 (カリフォルニア州パサデナ)
- ・リンウッド日本人ファミリー教会 (ワシントン州リンウッド)
- ・ユージーン日本語バプテスト教会 (オレゴン州ユージーン)
- ・日本語インターナショナル・ハーベスト教会 (ミズーリ州セントルイス)
- ・パールシティ第一バプテスト教会日本語部 (ハワイ州パールシティ)
- ・日本語ホープマウンテン・ファミリー教会 (コロラド州デンバー)
- ・サンディエゴ日本語南部バプテスト教会 (カリフォルニア州サンディエゴ)
- ・パロマー日本語バプテスト教会 (カリフォルニア州エスコンディド)
- ・ロックビル第一バプテスト教会日本語部 (メリーランド州ロックビル)
- ・オーランド日本語バプテスト教会 (フロリダ州オーランド)
- ・ピッツバーグ国際日本人教会 (ペンシルベニア州ピッツバーグ)
- ・サンアントニオ日本恵みインターナショナル教会 (テキサス州サンアントニオ)

「2020年までに北米に120の日本語教会を！」

○北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお祈りください！

○北米における日本人伝道と教会開拓のためにぜひお献げください！

郵便振替口座 口座番号 01730-9-141037

加入者名 JCPN 開拓伝道支援会

\*お振込みいただく際は、ご支援される教会名もしくは牧師名を、指定  
献金先として通信欄にご記入ください。 特にご指定がない場合、JCPN  
エマージェンシーファンドへの一般献金とさせていただきます。皆様の  
尊い祈りと献金を心より感謝申し上げます。